



長野県看護大学学報

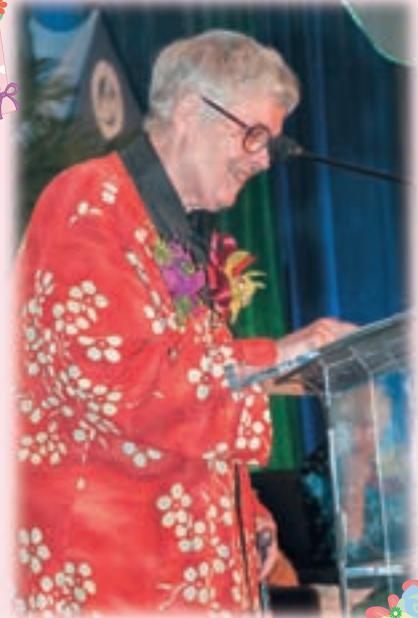


左から順に、アメリカ看護アカデミー会長、Anne J. Davis名誉教授、アメリカ看護アカデミー次期会長

Anne J. Davis名誉教授が Living Legendとして表彰されました

アメリカ看護アカデミーのLiving Legendとは、看護に対して多大な貢献を行ってこられた方々に授与される名誉ある賞です。Anne J. Davis 先生は看護倫理を世界に広めた先駆者であり、その顕著な業績と貢献はアメリカ国内のみならず、国際的にも認められています。

特に日本においては、サモア国立大学と本学の交流プログラムを確立したこと、主にアジア諸国を対象とした看護学研究集会を企画し、アジア5ヶ国の研究者を含む看護倫理研究プロジェクトを発足させたこと、看護や生命倫理に関して多くの会議で講演を行ったこと、といった様々な貢献が挙げられ、本学及び日本の看護に大きな影響を及ぼしました。本学教職員一同、心からお喜び申し上げます。



平成25年度新入生 ご紹介

今年も学部生 85 名、編入生 2 名、大学院博士前期課程 8 名、博士後期課程 3 名を迎えました。新入生からいただいたメッセージをご紹介します。



北澤 智也 さん (看護学部 1 年生)

入学してみてもう思うことは、単科大学なので同級生の人数も少ないことです。みんな同じ目標を持っているので、すぐ仲良くなれました。とにかく毎日が楽しいです！また、素晴らしい先輩たちとの距離がとても近いこともこの看大のいいところだと感じました!! 入学して 2 ヶ月ですが、この大学に入ってほんとによかったです。

小川 奈々 さん (看護学部 1 年生)

入学してから、約 2 ヶ月間、これほど時間が早く過ぎるのを感じたことはありません。慣れない環境で初めての一人暮らしに少し寂しくもなりながら、日々模索と不安がまだまだ続いています。しかし、友達もたくさん出来て、講義も興味深く楽しいです。また、バイトを始めたり、友達の家で夜更かしをしたり、ご飯を食べたり、と高校生では出来なかったことが出来てとても新鮮な毎日です。

2 年生授業紹介

在宅ケア論

学生にとって初めて“在宅看護”を学ぶ科目として、在宅療養者とその家族に対する看護援助の基本的な考え方や看護援助に必要な知識と技術の習得を目指します。在宅看護の充実が求められている医療・介護の現状や訪問看護に関連する制度等も学びながら、入院中からの在宅での生活に向けた支援について理解を深めます。また、療養者と家族の気持ちに寄り添い、多職種と共に支援する方法について考えます。



地域・在宅看護学分野講師
柄澤邦江

家族援助論

「家族援助論」は、看護の対象として「家族」を理解して、健康の保持増進や疾病予防のための看護活動、育児や介護などの支援方法を学習する科目です。看護学では「家族」をどのように理解するのか？家族も成長・発達する？健康問題に対して「家族」はどんな力を発揮できるの？限界は？「家族」への波及効果をねらった教育的対応とは？……など、家族のダイナミズムをプラスの方向に活かす方策を学習します。



地域・在宅看護学分野教授
安田貴恵子

平成24年度卒業研究報告

私は、生物・化学研究室で太田教授のご指導を受け、研究を行いました。そこで研究の進め方、論文の書き方、論理的な考え方等の研究の基礎を学ぶ事ができましたが、それ以外にも、複数の方向、視点から考えることや、物事を様々なことと関連付けて考えるということについても学ぶ事ができたと思います。また、同級生の行った研究の発表を見学したり、話を聞いたことから、新たな知識を身につける事ができたと思います。これらは今、臨床に出て看護師として働きはじめた私にとって、重要な役割を担っており、今後も活用できる財産だと思っています。

青木駿介さん (長野県立須坂病院、平成 25 年 3 月看護学部卒業)



右が青木駿介さん

学生活動報告



室内楽サークル & ハモネプサークル

卒業式及び入学式の学歌斉唱では、二つのサークルの皆さんがご協力下さいました。

本学の卒業式で学歌を生演奏することは初めての試みだったので、まずCDを聞いて楽譜を作ることから始めました。ハモネプサークルとの合同練習や、式のリハーサルでの練習を重ねて、何とか間に合わせる事が出来ました。自分達で試行錯誤して公式行事で演奏出来たことは、とても良い経験になりました。

小田切俊一さん
(室内楽サークル長)



入学式の学歌斉唱

ハモネプサークルは卒業式、入学式で学歌を歌わせていただきました。初めてのことでとても緊張しましたが、サークル活動を通して卒業生を送り出し入学生を迎え入れることができ、素晴らしい経験をさせていただけたと感じました。来年からもサークル活動の一環として参加させていただきたいなと思います。

小野ちはるさん
(ハモネプサークル長)



生協学生委員会お友達企画

生協学生委員会では、入学式目前の新入生たちの寮生活や大学生活に対する不安を和らげるため、毎年恒例の「お友達企画」というものを開催しました。最初は不安そうな顔をしていた新入生たちも、グループワークやビンゴ大会を通し、緊張がほぐれていったようでよかったです。私たちも新入生に混ざって楽しい時間を過ごしました(^o^)

花岡ゆりかさん (生協学生委員会企画長)



海外ボランティア

春季休業中に海外ボランティアに参加するため、カンボジアへ行きました。主な活動は、現地の小学生を世界遺産アンコール遺跡へ連れて行き、歴史的重要性を学んでもらうことでした。彼らには英語が通じないので、言葉でコミュニケーションを取ることは殆ど不可能でしたが、レクリエーションを通して、とても楽しく交流できました。今回の活動から多くのことを学ぶことができました。この経験を糧に、学業等に励んでいきたいと思います。

伊藤聖美さん (看護学部3年生)



博士前期課程授業紹介



看護理論

看護理論（概念枠組みまたは概念モデル）は、学問的専門領域としての看護の存在に必要不可欠といえます。理論の発展によって、看護は学問的領域、専門的領域で認められるに至りました。授業では近代看護の創始者として知られているナイチンゲールの看護の哲学や、ウィーデンバックの相互作用モデルなどについて学びます。苦手意識を持つ院生が多いのですが、実践と結びつけて考えることで理解が深まるようです。看護理論は、私たちが看護の本質を問う時の手掛かりとなり、実践に活用することで、より豊かな看護を導く手助けとなります。



看護管理学分野教授 白鳥さつき

質的研究方法論

看護学研究において今日多くみられるようになってきた質的研究方法について学びます。社会学領域にその起源を持つグラウンデッド・セオリー、民俗学・文化人類学にルーツを持つエスノグラフィ、哲学・社会学・心理学的視野を持ち統合的にアプローチすることによって対象の生活世界を出発点とする現象学などが看護学研究にどのように取り入れられてきたのかなどを、ゼミ形式で学んでいます。方法論的なルーツの探究と看護研究論文の輪読を行い方法論の理解を深めています。



老年看護学分野教授 渡辺みどり

大学院生の研究活動

私は里山・遠隔看護学分野博士後期課程に在籍していますが、普段は岐阜県内の公立病院で保健師をしています。研究では、里山で調査などをおこない、“ソーシャル・キャピタル/Social Capital”という概念を扱って人々の健康について探求しています。それはこの概念を使用して里山の暮らしを読み解くことで、今、この時代にもう一度見直すべき要素が見つかるのではないかと考えているからです。森を育て水を育みながら暮らす里山の人々の姿にふれさせていただくたびに里山の可能性を感じますし、広い知識と深い洞察力をお持ちの先生方のご示唆からは、人生を輝かせるような沢山の気づきと学びが得られ、これが大学院の醍醐味ともいえると思います。

吉村 隆さん（大学院博士後期課程3年生）



一番左が吉村 隆さん



専門看護師コース修了生ご紹介



院内看護の日企画：スキンケアでの一場面

私は、2010年度に大学院を修了し、昨年12月に小児看護専門看護師（小児看護CNS）を取得いたしました。小児看護学CNSコース修了者としては、二人目のCNSとなります。小児看護分野は、幅が広く、それぞれのCNSが得意分野をもちながら活動しており、私自身も小児アレルギーの看護をサブスペシャリティとして、こどもと家族のQOLの向上を目指してスタッフと協働しながら取り組んでいます。また、当施設には、6名の小児看護CNSが在籍しているので、CNS1年生の私にとっては、役割モデルの存在はとて大きく、心強い味方です。これからも、こどもと家族に寄り添う、揺るぎない活動を目指して頑張っていこうと思います。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

田阪祐子さん（神奈川県立こども医療センター、平成23年3月大学院博士前期課程修了）

認定看護師教育課程について



認定看護師
教育課程

平成23年度に「皮膚・排泄ケア」と「感染管理」の2分野(各分野定員20名)でスタートした本学の認定看護師教育課程は、今年度で3年目を迎えました。平成24年には、日本看護協会の現地視察を受け、この2分野は審査に合格しました。また、同年には一回生が日本看護協会の資格審査を受け、「皮膚・排泄ケア」分野で18名、「感染管理」分野で18名が合格し、各施設で専門性の高い技術と知識を持って活躍しています。平成25年度は「皮膚・排泄ケア」分野は休講とし、新たに「認知症看護」分野を開講しました。この教育課程は短い期間(8ヶ月)に専門関連領域の学問を学び、実習で課題を追究し、知識と技術を統合するという厳しいスケジュールです。そのため、大変な努力と気力が必要ですが、教員のサポートのもとに受講生は皆、目標を持って頑張っています。

認定看護師教育課程部門長 白鳥さつき



感染管理分野

認定看護師教育課程授業紹介



微生物・感染症学

感染の成立には宿主(ヒト)、感染経路、感染源(病原微生物)の三要素が必要です。感染予防および管理を使命とする感染管理認定看護師になるためには、この三要素の一つである病原微生物についてより深く理解しなければなりません。例年、受講生は微生物の名前や特徴をたくさん覚えなければならず、大変な苦勞をします。臨床経験の豊富な受講生が対象ですので、講義の内容はできるだけ実践と結びつけて考えられるものになるよう、試行錯誤しています。



感染管理分野主任教員 中畑千夏子

認知症看護分野

認知症看護原論

「認知症看護原論」では、認知症者の健康と尊厳ある生活を支援するために必要な認知症看護の専門性と役割を理解し、認知症者を多角的に捉える視点を養います。具体的には、高齢者の生きてきた時代背景や身体・心理的特徴を踏まえたうえで、認知症者の捉え方・人口学的特徴を学び、さらに認知症看護の専門性と役割を学んでいきます。実際に高齢者疑似体験の装具を着用して高齢者の日常生活動作を体験する講義内容もあります。



認知症看護分野専任教員 橋本晶子

認知症病態看護論

臨床の中で認知症看護認定看護師として活動していくためには、認知症そのものに対する高度な医学的知識が必要とされます。日進月歩で解明されつつある認知症医療を臨床及び研究分野で経験豊富な講師陣のもと、病因・病態、検査、診断、治療、認知リハビリテーションなど最新の知識を体系的に習得し、根拠を持った視点で認知症を持つ方々を支え、看護を提供できるように学習します。



認知症看護分野主任教員 細田江美

フォトがんどだい (平成24年12月~25年5月)

1月30日
平成24年度認定看護師教育課程
修了式



2月2日
平成24年度第2回公開講座「ゴ
リラから見た人間の家族と子育て」



2月9日
たんぼぼの会講演会「子どものア
レルギーについて一緒に学ぼう！」



2月28日-3月7日
サンフランシスコ看護海外研修



3月6日
看護実践国際研究センター
高齢者水中運動プロジェクト
平成24年度骨密度測定大会



3月8日
第15回卒業記念植樹



3月9日
平成24年度卒業式・修了式



3月21日
平成24年度
長野県看護大学研究集会



4月3日
平成25年度入学式



4月8日-9日
新入生オリエンテーション合宿



5月21日
長野県看護大学生生活協同組合
第15回通常総会



新任教職員ご紹介

平成25年1月以降、13名の教職員が着任致しました。
3名の教員のメッセージを紹介致します。



海の街、函館から来ました。山野に囲まれての生活は初めてですが、駒ヶ根は空気、水、それに野菜がとってもおいしいので助かっています。この素晴らしい環境の中で仕事ができることに日々感謝しています。

健康センター長 東 修

今年の4月から基礎看護学講座の教員となりました。3月までは重度の障がいを持つ子どもたちが入所する施設で看護師として働いていました。これからは、この職場で学生の皆様と現場との繋ぎをしていき、学生の皆様が歩む未来への繋ぎもしていけたらと思います。

基礎看護学分野講師 寺島憲治



今井家子です。災害看護と国際看護の担当です。地震や台風などの災害を止めることはできません。大切なことは災害に対する予防策を立て、実行することです。自分の命は自分で守る準備が必要です。自分が無事であって初めて看護師として周りの人を助けることができます。自己防災のために何ができるか一緒に考えましょう。

基礎看護学分野教授 今井家子

有賀智也 (老年看護学分野助教)
寺島憲治 (基礎看護学分野講師)
東 修 (健康センター長)
上田穂積 (事務局次長)
唐澤 淳 (就職支援員)

後列

橋本晶子 (認定看護師教育課程
認知症看護分野専任教員)
細田江美 (認定看護師教育課程
認知症看護分野主任教員)
細萱絵里香 (基礎看護学分野助手)
近藤恵子 (基礎看護学分野助教)
今井家子 (基礎看護学分野教授)
鈴木裕実 (学生支援員)
乾 由佳 (学校司書)
篠原睦美 (学生支援員)

前列

平成25年度前期 行事予定



4/3(水) 入学式

4/4(木)~5(金) ガイダンス・健康診断

4/8(月)~9(火) オリエンテーション合宿

5/21(火) 生協総会

7/30(火) キャリアガイダンス

8/3(土) オープンキャンパス

1年生 基礎看護実習 I

4年生 看護専門領域別実習、在宅看護実習、看護管理実習など



INFORMATION



第18回鈴風祭



よさこいサークルの皆さん

鈴風祭 18th

Heart to Heart

～つなぐれ！ココロ～

2013年
9月21日～22日



平成25年度第1回公開講座 自分の命は自分で守ろう… 減災の勧め

日時

2013年 9月 21日(土)

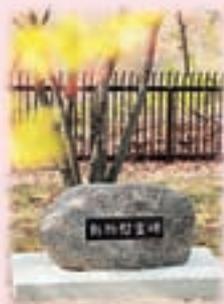
10:30～12:00 (鈴風祭1日目 受付開始10:00)

場所

長野県看護大学 大講義室 (教育研究棟 3階)

講師

今井 家子 (長野県看護大学基礎看護学分野教授)



動物慰霊碑

本学では、動物慰霊碑を建立しました。動物慰霊祭は、11月に実施予定です。

長野県看護大学学報 No.36 (平成25年7月) 編集・発行 / 長野県看護大学広報・交流委員会
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL 0265-81-5100 <http://www.nagano-nurs.ac.jp/>

Nagano College of Nursing
長野県看護大学

